

際と研究 23: 81-98, 1980.

6) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 山口弘信: 外陰部を欠損した男性の2剖検例, 法医学の実際と研究 23: 111-116, 1980.

◆ 学会報告

1) 大谷 勲: 舌骨, 甲状軟骨および軸椎に骨折を伴った縊頸失敗(?)屍例に認めた頸動脈内膜裂傷および解離性動脈瘤の1例, 第64次日本法医学会総会, 1980. 4, 長崎.

2) 籠谷秀翁, 中村 功, 大谷 勲: ヒト精漿中の酸性ホスファターゼ2分画の精製とその性状について, 第64次日本法医学会総会, 1980. 4, 長崎.

3) 大谷 勲: シンポジウム: ヒトヘモグロビンを指標とする人・獣血鑑別—ヒト HbAo およびヒト HbFo の免疫血清について, 第64次日本法医学会総会, 1980. 4, 長崎.

4) 大谷 勲, 松田健史: 一見, 古代人骨を観を呈した白骨の鑑定例, 法医学談話会第56回例会, 1980. 6, 福島.

5) 大谷 勲, 中村 功: 富山地方住民におけるハプトグロビン型分布について, 第25回中部鑑明会総会, 1980. 10, 名古屋.

6) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功: 溺死体の頭部にみられた生前のスクリー創の1例, 第27回日本法医学会近畿地方会, 1980. 10, 大津.

7) 大谷 勲: 共通演題「検屍に関する制度上の諸問題」- 5, 富山県における検屍の現状について, 第27回日本法医学会近畿地方会, 1980. 10, 大津.

8) 大谷 勲, 籠谷秀翁: 氏名, 撮影日時の異なる同一部位X線フィルムの個人識別例, 法医学談話会第57回例会, 1980. 10, 雫石.

9) 大谷 勲, 籠谷秀翁: 頭蓋骨骨折縁に成傷器由来の色素の付着, 残存を認めた2剖検例, 第30回日本法医学会九州地方会, 1980. 10, 北九州.

10) 籠谷秀翁, 中村 功, 大谷 勲: ネコ血清のヒト赤血球凝集性について, 第2回日本法医学会中部地方会, 1980. 11, 名古屋.

内 科 学 (1)

教 授	矢 野 三 郎
助 教	浅 沼 克 次
講 師	伊 藤 正 己
講 師	中 尾 皖 英
助 手	加 藤 弘 巳
助 手	藤 井 隆 彦
助 手	鈴 木 英 彦
助 手	杉 森 正 克

◆ 著 書

1) 矢野三郎: 肥満症, 426-427, 今日の治療指針, 石山俊次他編, 医学書院, 1980.

◆ 原 著

1) Morimoto Y., Oishi T., Hanasaki N., Miyatake A., Sato B., Noma K., Kato H., Yano S. and Yamamura Y.: Interrelations among amenorrhea, serum gonadotropins and body weight in anorexia nervosa. *Endocrinol. Jpn.* 27: 191-200, 1980.

2) 加藤弘巳, 長谷部直子, 鈴木英彦, 藤井 隆, 浅沼克次, 矢野三郎, 金丸哲宏, 北川常廣: 酵素免疫測定法によるゲンタマイシンの測定—血中濃度測定とその臨床利用, 臨床化学シンポジウム 19: 193-194, 1980.

3) 北本 治他, 矢野三郎, 加藤弘巳: 呼吸器感染症に対する Cefotaxime と Cefazolin の薬効比較試験, 感染症学雑誌 54: 471-517, 1980.

4) 中野直子, 加藤弘巳, 鈴木英彦, 中尾皖英, 矢野三郎, 金岡又雄: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法 (第1報) —グリチルレチン酸の酵素免疫測定法, 薬理と治療 8: 4167-4170, 1980.

5) 中野直子, 加藤弘巳, 鈴木英彦, 中尾皖英, 矢野三郎, 金岡又雄: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法 (第2報) —血中グリチルレチン酸, グリチルリチンの測定, 薬理と治療 8: 4171-4173, 1980.

6) Ito M., Ralph P., Moore M.A.S.: Suppression of spleen natural killing activity induced by BCG. *Clin. Immunol. Immunopathol* 16: 30-38, 1980.

7) Ralph P., Williams N., Nakoinz I., Jackson H., Ito M., Azuma I. and Yamamura Y.: Enhancement of macrophage cytotoxicity to tumors and production of megakaryocyte-

stimulating factors by microbial agents. *Kekkaku* 55 : 499-503, 1980.

8) 伊藤正己: 菌体成分 cell-wall skeleton (CWS) によるマクロファージの活性化, *結核* 55 : 506-510, 1980.

9) 野間啓造, 中尾皖英, 佐藤文三, 山村雄一: ラット中枢神経系における Androgen の作用機構の検討, *ホルモンと臨床* 28 : 863-870, 1980.

10) Sato B., Noma K., Nishizawa Y., Nakao K., Matsumoto K. and Yamamura Y.: Mechanism of Activation of Steroid Receptors: Involvement of Low Molecular Weight Inhibitor in Activation of Androgen, Glucocorticoid, and Estrogen Receptor Systems. *Endocrinology* 106 : 1142-1148, 1980.

11) Noma K., Nakao K., Sato B., Nishizawa Y., Matsumoto K. and Yamamura Y.: Effect of Molybdate on Activation and Stabilization of Steroid Receptors. *Endocrinology* 107 : 1205-1211, 1980.

◆ その他

1) 矢野三郎: 中高年労働者の健康づくりについて一成人病検診の意義とその問題点, *とやま県医報*, No795, 10-11, 1980.

◆ 学会報告

1) 藤井 隆, 加藤弘巳, 浅沼克次, 矢野三郎: Sick Sinus Syndrome を伴った Hashitoxicosis の 1 例, 第105回日本内科学会北陸地方会, 1980. 2, 金沢.

2) 杉森正克, 伊藤正己, 矢野三郎: 高齢で発症し IgE が高値を示した気管支喘息の一例, 第105回日本内科学会北陸地方会, 1980. 2, 金沢.

3) 伊藤正己: 菌体成分 cell-wall skeleton (CWS) によるマクロファージの活性化, シンポジウム「マクロファージと結核感染」, 第55回日本結核病学会総会, 1980. 4, 大阪.

4) 浅沼克次, 藤井 隆, 矢野三郎: 性ホルモンと免疫(第5報), 胸腺摘除下のラットリンパ組織の発育に及ぼす性ホルモンの影響, 第53回日本内分泌学会総会, 1980. 5, 横浜.

5) 藤井 隆, 浅沼克次, 矢野三郎: 性ホルモンと免疫(第6報), 抗細菌性の α アミラーゼ抗体産生に及ぼすテストステロン, エストラジオールの影響, 第53回日本内分泌学会総会, 1980. 5, 横浜.

6) 野間啓造, 中尾皖英, 佐藤文三, 西沢恭子, 松本圭史, 山村雄一: Glucocorticoid Receptor の活性化機構の検討, Molybdate anion による非活性

型 Receptor の分離, 第53回日本内分泌学会総会, 1980. 5, 横浜.

7) 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘巳, 中野直子: Glycyrhethylamino-Bovine serum albumin 複合体の作製, 日本薬学会北陸支部第50回例会, 1980. 6, 富山.

8) 藤井 隆, 加藤弘巳, 伊藤正己, 浅沼克次, 矢野三郎, 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 深瀬真之, 小泉富美朝: 髄外病変として血性胸水貯留を伴った興味ある骨髄腫の1例, 第107回日本内科学会北陸地方会, 1980. 6, 富山.

9) Tsuge I., Shimizu A., Ito M., Tokuma Y. and Yamamura Y.: A quantitative assay of phagocytosis using liposomes with trapped spin labels. 4th International congress of Immunology, 1980. 7, Paris.

10) 中野直子, 加藤弘巳, 鈴木英彦, 中尾皖英, 矢野三郎, 金岡又雄: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法に関する研究, 第14回和漢薬シンポジウム, 1980. 8, 富山.

11) 鈴木英彦, 加藤弘巳, 矢野三郎, 北川常廣, 猪瀬宜昭: 固相法によるトブラマイシンのエンザイムイムノアッセイに関する研究, 第20回臨床化学シンポジウム, 1980. 9, 東京.

12) 矢野三郎: グリチルリチンの基礎と臨床, シンポジウム「天然医薬品開発のための総合研究」1980. 10, 京都.

(主催: 昭55年度文部省科研費総合研究(B), 天然薬物の開発研究班)

13) 伊藤正己, 矢野三郎, 飯塚秀文: マクロファージの腫瘍細胞傷害能における不均質性, 第39回日本癌学会総会, 1980. 11, 東京.

14) 伊藤正己: 肺胞気管支洗浄法の診断的価値, 肺胞マクロファージについて, シンポジウム「末梢気道をめぐる諸問題」, 日本胸部疾患学会, 日本結核病学会, 日本気管支鏡学会合同北陸地方会, 1980. 11, 長岡.